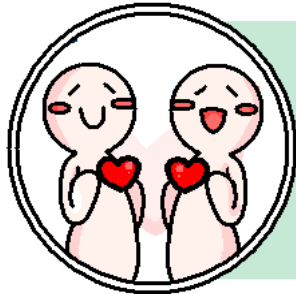


かかやき



テーマ

思いやり ふれあう心 いっぱいのまち

重点課題

高めよう人権意識 強めよう地域の絆

平成から令和へ！ 人権学習推進事業スタート

6月9日(日)、倉敷西公民館で、推進委員・事務局員・啓発広報部員・倉敷市教育委員会など61名の参加を得て、総会を行いました。

昨年度の事業報告・決算報告の後、今年度の事業計画・予算も承認され、令和元年度の西中学校区人権学習推進事業がスタートしました。今年度も「思いやり ふれあう心 いっぱいのまち」をテーマに、「高めよう人権意識 強めよう地域の絆」を重点課題として、地域の皆様と共に人権を大切にしようまちづくりを進めていきます。よろしくお祈りします。



10月からの 行事予定

10月

中洲学区町内会連合会学区民祭

期日 14日(月)
場所 イオンモール倉敷イオンホール
内容 演芸、フリーマーケット
人権啓発

倉敷西公民館文化祭

期日 18日(金)~20日(日)
場所 倉敷西公民館
内容 作品展示、舞台発表

人権O×クイズ

期日 18日(金)・19日(土)
時間 10:30と14:00
場所 倉敷西公民館

11月

老松ふれあいフェスタ

期日 2日(土)
場所 倉敷市立老松小学校

中洲学区ミニ健康展

期日 14日(木)
場所 倉敷西公民館
内容 各種健康測定、健康体操
健康食品試食、人権啓発

西中学校区青少年を育てる会

ふれあいウォーク

期日 16日(土)
場所 酒津公園等

老松学区

三世代ふれあいスポーツ大会

期日 24日(日)
場所 倉敷市立老松小学校
内容 グランドゴルフ、輪投げ
ペタンク、人権啓発

その他

西中学校 10組との交流会

場所 倉敷市立西中学校
内容 授業の見学
生徒との交流

12月

人権作品表彰式

期日 8日(日)
場所 倉敷西公民館
内容 小・中学生の人権に関する
作文、ポスター、標語の優
秀作品表彰と児童・生徒に
よる発表

推進委員研修会

期日 8日(日) 表彰式後
場所 倉敷西公民館

1月

新年の会

期日 12日(日)
場所 老松ふれあい会館
内容 講演会、情報交換、親睦会

老松学区町内会婦人部研修会

期日 15日(水)
場所 老松ふれあい会館

第2回人権教育講演会(倉敷西公民館主催)

期日 19日(日)
場所 倉敷西公民館
内容 演題「笑顔で働く障がい者から
もらったもの」
~障がいは不幸ではないが...~
講師 元岡山大学大学院
教育学研究科特任教授
妹尾 一道 先生



カレーパーティー開催!

倉敷市立中洲認定こども園

～野菜の収穫～

カレーパーティーで使うことを楽しみにし、毎日水やりや草取りをして育てたじゃがいもと玉ねぎ。6月、いよいよ収穫の時期。土から出ている葉を引っ張ると大きさはさまざまでしたがたくさんのじゃがいもが出てきて大喜び。「タマネギ、なんかネギのにおいがする」と思い思いに話しながら、楽しく収穫することができました。



みんなでつくった
カレーおいしいね!



～カレーパーティー～

6月19日(水)、子どもたちが育てた野菜を使ってカレーを作り、中洲小学校の校長先生や教頭先生、また昨年までお世話になった先生を招待して、カレーパーティーを開催しました。

「育てた野菜でおいしいカレーを作ろう!」と家でカレーに入れるものや作り方を調べたり、包丁の練習をしたりして、年長児92名、一生懸命作りました。1年生になる期待をもちながら、小学校の先生方との会話も楽しみました。

読み聞かせ 全校道徳

倉敷市立中洲小学校



中洲小学校では、毎年、6月の校内人権週間での取組の一つとして、全校道徳の授業を行っています。全校児童が体育館に集まり、教師による読み聞かせをしています。今年、6月18日(火)にアメリカの絵本作家、キャサリン・オートシ作、乙武洋匡訳の絵本『One』の読み聞かせをしました。

この本は、数字などを通していじめに向き合う勇気の大切さを描いた作品で、アメリカで15の賞を受賞した作品でもあります。子どもたちは、いじめをしているレッドや、いじめを受けているブルーの気持ちを考えながら真剣に聞き入っていました。

子どもたちには、実際にいじめが起こっている場面でも、黙って見過ごすことなく、勇気を振り絞って立ち向かってほしいと願っています。

ふれあい体験学習

倉敷市立倉敷西小学校



6月8日(土)に、地域の方々を講師にお招きし、「ふれあい体験学習」を実施しました。44名の達人の方々に来ていただき、「キャンドル作り」や「バスケットボール入門」をはじめ、16の講座を開催することができました。子どもたちは自分で選んだ講座で、達人の方々の指導を受けながら、みんな生き生きと活動しました。

「火起こし体験学習」の講座では、達人の方々に手伝っていただきながら、摩擦熱で火を起こす技術を体験しました。天気が悪く湿度が高かったせいか、なかなか火が起こせず苦労しましたが、腕が痛くなりながらも何とかみんな頑張って火を起こしました。起こした火の力を使って水の上を進む船で遊んだり、おいしい物を火であぶって食べたりし、「火育(ひいく)」について学びました。

今後も地域の方々のお力をお借りしながら、この「ふれあい体験学習」を続けていければと願っています。

倉敷市立西中学校

グッド ビヘイビア チケットと 倉敷駅前ボランティア清掃



西中学校では、生徒のよいところやすばらしい行いに、グッドビヘイビア チケットというカードを渡す取組を7月からスタートしました。チケットは3種類あり、美術部の生徒がデザインしたものです。これからも、生徒のよいところやすばらしい行いをチケットに書いて、生徒を励まし勇気づけていきたいと思えます。

写真は、毎月第4日曜日の早朝(7月28日)、倉敷平成ライオンズクラブの皆さんにお世話いただいている「倉敷駅前ボランティア清掃」に参加した生徒・先生・クラブの方々です。参加した生徒にチケットが渡されました。



戦争のない平和な世界を

研修視察

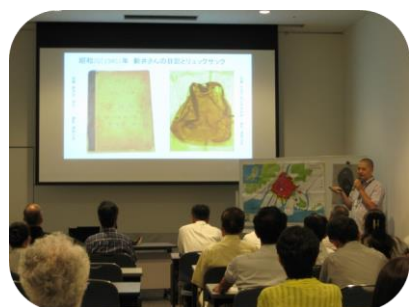
8月23日(金)、東・西中学校区人権学習推進委員会合同の研修視察が行われました。今年度の視察先は「広島平和記念資料館」で、西中学校区からは、推進委員や地域の方など18名が参加されました。今年の春、リニューアルされた資料館には、被爆された方々の遺品や被爆の惨状を示す写真や資料が数多く展示されており、あらためて原爆の恐ろしさを目の当たりにしました。



また、被爆者の方の高齢化が進み、被爆体験をお話される方が少なくなっている中、被爆者の方の体験や平和への思いを語り継ぐ被爆体験

伝承者の渡部公友(わたなべ こうゆう)さんから、お話を聴かせていただきました。渡部さんのお話の中に込められた「戦争は絶対にだめだ!」という強いメッセージが心に響きました。

今回の研修視察を通して、世界で唯一の被爆国日本に住む私たち一人ひとりが、原爆や戦争の恐ろしさ、そして平和の大切さ、命の大切さを今一度考えるとともに、次の時代に伝えていかなければならないと強く感じました。



人権教育講演会

手話通訳の経験から～手話と私～



8月25日(日)、倉敷西公民館主催の第1回人権教育講演会が開催されました。厚生労働大臣公認手話通訳士の井上宏美先生をお招きして、「手話通訳者の経験から」～手話と私～という演題でご講演をいただきました。人権学習推進委員や倉敷西公民館のグループ生、地域の方など59名が参加しました。

耳が不自由なご両親と過ごされた先生自身の幼いころの思い出、そして長年、手話通訳に携わる中での貴重な経験など、様々な視点から、先生の手話への熱い思いを表情豊かに話してくださいました。また講演の中では、参加者の皆さんと一緒に手話で簡単なあいさつをしたり、「ふるさと」を歌ったりするなど、温かい雰囲気の中でお話を聴かせていただきました。

最後に先生がまとめとして話された「ありがとうと感謝!!生んでくれてありがとう。育ててくれてありがとう。仲間がいてくれてありがとう。手話と出会えてありがとう」という言葉が心に残りました。

参加者の感想

感動しました。井上先生の前向きな生き方に学ばねばと思いました。

体験を通しての講演は心に響く、印象深いものでした。耳の不自由な人もそうでない人も、同じ自然の生活ができるよう応援したいと思いました。

